



抽象絵画の先駆者と言われるロベール・ドロローネーの作品も所蔵



day\*3

# モダンアートと パリの新名所に遊ぶ一日



右ノイベント会場としても使われる  
広々としたエントランスホール  
左ノ最上階にあるレストラン「ジョルジュ」は  
スタイリッシュな内装と眺めの良さで大人気  
下ノ透明チューブのエスカレーターでパリを一望



**D A T A**  
住所：Pl. Georges Pompidou 4区  
メトロ：11号線 Rambuteau  
☎ 01 44 78 12 33  
開館：11時～21時（木曜は11時～23時）  
休み：火曜、5/1 料金：€10（第1日曜は無料）  
www.centrepompidou.fr

るとは限らないが、反対に常に新しい発見がある美術館でもある。ポンピドゥー・センターにあるもうひとつのアートスポットは、正面広場の奥に建つ「ブランクーシのアトリエ」だ。ブランクーシは、国立近代美術館にも作品がある彫刻家で、遺言によりアトリエそのものが国に寄贈された。生前のままに再現されたアトリエには、ブランクーシ自身が配置にこだわったという作品も置かれている。単なる制作の場ではなく、ひとつの展示室として見ておきたい。



## パリのパノラマも楽しめるアートスポット 国立近代美術館 (ポンピドゥー芸術文化センター内) *Musée national d'Art moderne*

美術館、図書館などがいった総合芸術センターとして機能している



赤や青のダクトがむき出しになった外観に、開館当時「醜悪」だと感じた人も少なくないだろう。しかし中に入れば、この建物の斬新さを思い知らされることになり。広大な1階ホールには柱というものが無い。これはすべての階に共通し、自由に仕切りをつくり空間を演出できる。また各階を結ぶ通路は外にあり、その透明なチューブはパリの風景と溶け合っている。なんて自由で、機能的な空間だろう。このパノラマを体験するだけでも、来る価値はある。センターの5〜7階を占めるのが国立近代美術館だ。所蔵作品数は約5万9000点とヨーロッパにおける近現代美術館としては最大規模を誇る。5階は現代の作品、6階にはマティスなど1905年以降の作品が展示され、フォーヴィスムから始まる20世紀アートの流れをたどることができる。いつも同じ作品が見られ

## 2

2007年に30周年を迎えたポンピドゥー・センター。